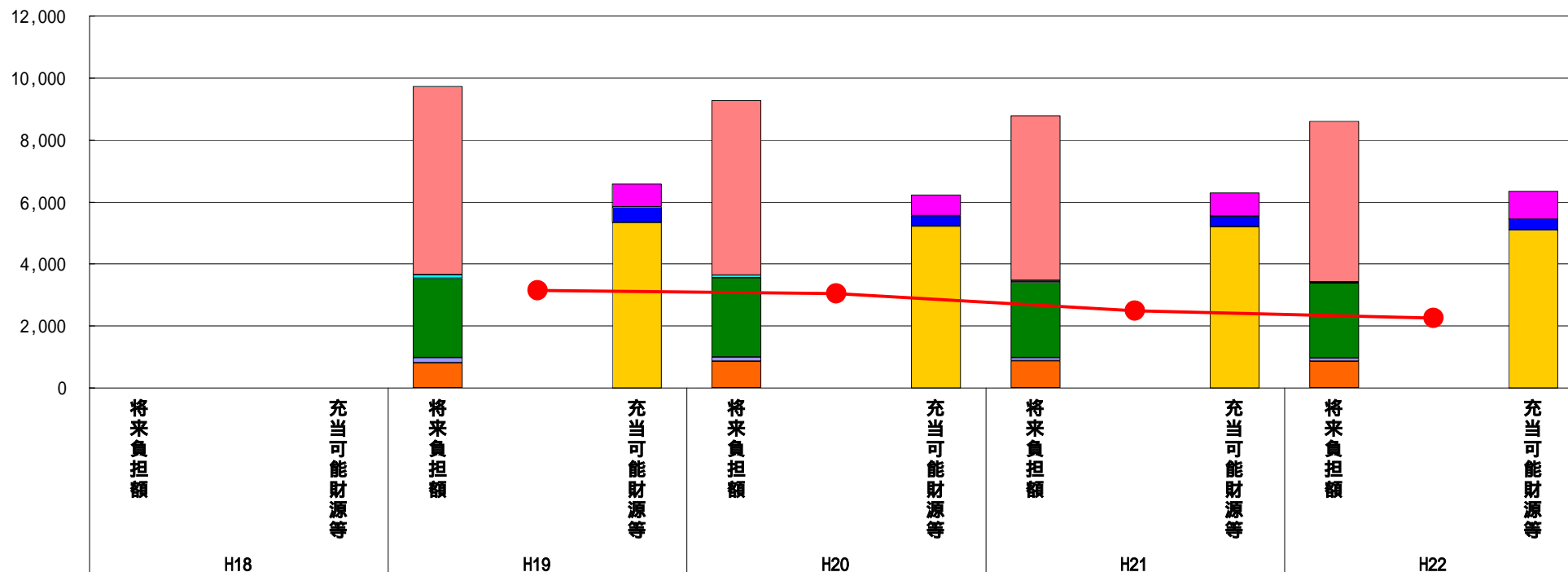


# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

岩手県平泉町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	6,082	5,641	5,321	5,183	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	127	81	44	31	
	公営企業債等繰入見込額	-	2,549	2,555	2,434	2,434	
	組合等負担等見込額	-	165	139	111	88	
	退職手当負担見込額	-	812	859	871	864	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	752	669	747	915	
	充当可能特定歳入	-	495	343	338	329	
	基準財政需要額算入見込額	-	5,342	5,218	5,202	5,106	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	3,147	3,043	2,496	2,250	

**分析欄**

一般会計等に係る地方債の現在高・・・H19年度～21年度の3年にわたり利率の高い起債を繰上償還したことや起債の新規発行を抑制しておりH22年度で5183百万円まで減少してきた。

債務負担行為に基づく支出予定額・・・近年、圃場整備など新たな事業を行っていないことから年々減少している。公営企業債の元利償還金に対する繰入金・・・下水道事業特別会計などの影響が大きいのが、投資事業等を計画的に行うことにより新規起債発行を抑制するなどして全体で横ばいから微減で推移している。

組合等負担金等見込額・・・一関地方広域行政組合の負担金であり、新たな設備投資等を行わない限り年々微減傾向となっている。

退職手当負担見込額・・・定員適正化計画に基づく職員採用等を行っており、退職者とのバランス等からみてほぼ横ばいで推移している。

充当可能基金・・・H21、H22年度と普通交付税が増額となったこと等によりH22年度で915百万円まで増額となっている。充当可能特定歳入・・・地域総合整備事業債貸付による返済金と町営住宅使用料であるが、町営住宅使用料が年々微減傾向となっており、全体として微減となっている。

基準財政需要額算入見込額・・・H18年度以降起債の新規発行を抑制してきていることから年々減少してきている。

将来負担比率の分子・・・地方債の現在高が年々減少し、充当可能基金増加しているため、確実に減少傾向となっている。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。